整理番号：2026013

【研究概要】

2,4-ジクロロフェノキシ酢酸（2,4-D）は広く使用される農薬であり、経口摂取時には急性循環不全など致死的な中毒症状を来しうる。一方で、2,4-D は高い蛋白結合率を有し、曝露量によって分布容積も変動するため、血液浄化療法の有効性は一定の見解が得られていない。今回、2,4-D 中毒症例に対して持続的血液濾過透析（CHDF）を施行し、LC/MS を用いて血清、尿、透析排液中濃度を測定することで、体外排出動態および CHDF 施行下の薬物動態を検討する。